

勝ちたかった

荒川 宏

昨年、私の退職時には、それぞれ忙しい時にも拘わらず、遠くからお集まり頂き有り難うございました。お力添えを賜りました皆様、とりわけバスケット部の皆様のお陰で、無事に教員生活を終えることができました。心から感謝申し上げます。当日は感激の余り、いろいろお話をして時間をとり申し訳ありませんでした。

さて、今回の会報に何か書けと、服部さんから連絡がありましたので、懐かしい当時は思いながら書いています。

旭丘にお世話になったのは、昭和46年4月から56年3月まででした。24回生が3年、25回生が2年、26回生が1年でした。24回生はまじめな人ばかりでしたが、下級生になるほど個性が強く、元気がありすぎて、いつも何かしていないと自分を持てあましてしまう人ばかりでした。丁度、学園紛争の頂点の時代でしたが、勉強・話し合いだけでなく、バスケットでも力一杯やりたい感じでした。前任校でその前々年にインターハイに出場していましたので、旭丘でも出場できるものと思いがちでした。

どの学年も身長、体格、運動能力に優れた人がいて、何をしても勝てる気がしていました。負ける材料を探すことの方が、勝つ材料を探すよりも難しく思っていました。それは、何を教えてもすぐに出来てしまうからです。それが、いざ試合になると大事なところで点が入らず、ここで1本という時に何故

かミスをしていることが多かった。何故勝てないのかと、その日は眠れず悔しい思いをしていました。

一人一人の力をどうやったら引き出せるのか、誰と誰を組み合わせるといい結果になるのか、スタミナがあるのは誰か、ゴール下で負けないのは誰か等々反省をしていましたが、最後は名電に勝つためにはシュートを決めることだと思い、得点出来る人を作ることに考えました。しかし、決定的な力をつけるまでに至らず残念でなりませんでした。

女子も男子と同じく、スピード、身長、身体能力に恵まれた人が、多く集まるようになり、全国の入り口まではいけそうな気がしていましたが、部だけでなく学校内の他のことに熱心な人も多く、楽しい部であったが、力を出し切れなかった。

男子も女子も、そしてどの学年にも勝てるチャンスがあったが、勝てなかった悔しさが今でもあります。その思いからか、この春から小牧南高校の練習を見に行っています。

取り止めもないことを書きましたが、田中、伊藤、飛岡、岸田、今井先輩たちが、再建してくれたOB会に力を貸して頂いてでも、早い機会に全国大会に出場されることを期待しています。また、卒業生の皆さんが、いつまでも元気に活躍されますようお祈りしています。



昭和46年から昭和56年まで10年間にわたって顧問を務められ強豪名電や名城と競い合ったチーム作りをするともにOB会の設立整備にご尽力されました荒川宏先生が昨春、ご勇退されました。平成15年8月15日、若山会長他、お世話になったOB・OGが集まり「荒川先生を囲む会」を開催いたしました。40余名のOBが駆けつけ、楽しいひと時を過ごしました。

- ・今年の四校リーグは、8月7日(土)、8日(日)に向陽高校で行われます。詳細は裏面をご覧ください。
- ・毎年1月4日頃、新年のOB・OG戦を旭丘体育館で行っています。12月上旬には日程等をOB会ホームページ (<http://aabc.cool.ne.jp/>) でお知らせします。
- ・会費納入にご協力ください。1口1000円からです。同封の振込み用紙か、四校リーグ等の折をお願いします。

顧問の先生方より

[高岸郁夫]

OB会より様々なバックアップをいただき、現役の生徒たちは大変感謝しております。今年の男子は2年・1年合計40名近いメンバーでのスタートとなり、狭いコートでの練習に四苦八苦しております。体力・技術面は能力の高い生徒がおりますが、精神面でのもろさが試合の勝敗に随分左右しているようにも思われます。今後は接戦にもチームのペースをくずさず戦えるよう心を鍛えていきます。これからよろしく応援をお願いします。

[山崎辰雄]

鯨光館に響く「キュッ」というストップの音と、仲間や自分を励ます生徒諸君の元気な声は途切れることがありません。OB会の皆様を送って下さる途切れることのない声援をエネルギーにして、練習で培ったハートと技術を、ゲームにおいて最大のパフォーマンスとして発揮できる旭丘バスケットボールチームであることを期待しています。

[今井 直]

3年先輩と現役との練習ゲームが先日行われました。旧チームが懐かしく思われ、昨年6月の旧チーム最初の練習試合と今年の総体名北予選2回戦のVTRを見比べてみました。改めて、彼女たち一人一人、そしてチーム全体の成長に驚きました。体力・技術・精神力、そしてチームの団結力、どれ1つとっても見違えるほどでした。総体名北ベスト8は、決して「偶然」ではなく、まぎれもなく彼女たちの1年間の努力の成果だと思いました。

新チームは、新入部員15名を迎えて23名でスタートしました。例年にない大所帯で、鯨光館は若いエネルギーと笑顔であふれ、県大会出場を目標に連日がんばっています。

第55回 四校リーグのお知らせ

第1日 8月7日(土) 向陽高校

時間	区分	Aコート	対戦校	Bコート	対戦校
9:00	開会式				
9:20	現役女子	明和 - 旭丘	菊里	菊里 - 向陽	明和
10:50	現役男子	明和 - 旭丘	向陽	向陽 - 菊里	明和
12:20	ルキ女子	向陽 - 旭丘	対戦校	菊里 - 明和	対戦校
13:10	ルキ男子	旭丘 - 向陽	対戦校	菊里 - 明和	対戦校
14:00	現役女子	向陽 - 明和	旭丘	旭丘 - 菊里	向陽
15:30	現役男子	菊里 - 明和	旭丘	旭丘 - 向陽	菊里

第2日 8月8日(日) 向陽高校

時間	区分	Aコート	対戦校	Bコート	対戦校
9:00	ルキ決勝	男子勝者	男敗者	女子勝者	女敗者
10:00	現役女子	明和 - 菊里	旭丘	向陽 - 旭丘	明和
11:30	現役男子	明和 - 向陽	菊里	菊里 - 旭丘	向陽
13:00	OB	明和 - 菊里	旭丘	旭丘 - 向陽	明和
14:00	OG	菊里 - 明和	向陽	旭丘 - 向陽	菊里
15:00	閉会式				
15:30		超OB	向陽	OG決勝	向陽
16:15	OB	OB決勝	向陽	OB3決	向陽

最近のルールについて

最近、大きなルールの変更がありました。

一つは従来の20分ハーフから10分クォーターになったことです。四校リーグでも現役戦は

前半:10分 - 休憩1分 - 10分

ハーフタイム(正式は10分、四校リーグでは5分)

後半:10分 - 休憩1分 10分

で行います。

もう一つはルーズボールです。ジャンプボールは前半、後半のスタートの2回だけです。従来ジャンプボールになっていたルーズボールなどは交互に近くのラインからのスローインで始まります。

四校リーグで見てください。

- 貴重品の管理は各自でよろしくをお願いします
- 屋内(体育館)と屋外のシューズの区別をよろしくをお願いします。
- 体育館内は飲食禁止です。
- ゴミは必ず持ち帰って下さい。
- 組み合わせ表の左側のチームがユニフォームは淡色(白)、ベンチはオフィシャル席に向かって右側です。
- OB戦は20分ハーフ(流し)、OG戦は15分ハーフ(流し)、超OB戦は10分ハーフ(流し)です。ハーフタイムは5分です。
- OG戦、超OB戦は、他校との混成チームになる場合もあります。なお、超OBチームは原則として40歳以上とします。

四校リーグは、設備のいい(冷房の効いた)公的体育館を利用する方向で、四校OB会の連絡会で話し合いをしました。(そのために、各校の分担金を50,000円から55,000円に増やしました。)しかし今年、あいにく会場がとれませんでした。来年度は旭丘が開催校です。なんとか公的体育館を予約したいと思っています。

新チーム紹介

男子

選抜大会名北予選	1回戦：旭丘	71 - 63	旭野	2回戦：旭丘	49 - 83	愛知
新人戦名北大会	1回戦：旭丘	59 - 74	明和			
インターハイ名北予選	1回戦：旭丘	68 - 73	高蔵寺			

今年の僕達の目標は「県大会に出場し、一つでも多くの試合をする」ことです。

そのために一日一日の練習を大切にし、先生、先輩、また試合を通じて対戦相手から教わる「自分達に足りないもの」を補い、克服できるように頑張りたいです。応援よろしくをお願いします。

女子

選抜大会名北予選	1回戦：旭丘	38	105	高蔵寺		
新人戦名北大会	1回戦：旭丘	46 - 87	菊里			
インターハイ名北予選	1回戦：旭丘	74 - 60	東邦	2回戦	：旭丘	54 - 47 長久手
	準々決勝：旭丘	37 - 96	淑徳	5～8決：旭丘	55 - 84	菊里
	7決：旭丘	44 - 77	千種			

今年度は23人と部員数が多いですが、みんなで一つになり、お互いが刺激しあい、「楽しくバスケ」ができるチームをつくっていきたいです。そして毎日私達を見守ってくださる先生方の指導のもと、ベスト8、県大会出場を目指して頑張りますので応援よろしくをお願いします。

来年(平成17年)は四校リーグの開催校です。また4年に1度の総会の開催と役員の改選もあります。これから、若山会長以下の現役員で準備を進めていきますので、ご協力よろしくお願いします。

まずは、現役女子の活動も盛んでOGの数も増えるなか、会の名称を「OB会」から「OB・OG会」に変更することを検討しています。ご意見をお聞かせください。

春の大会では女子が名北ベスト8でした。おめでとう！新チームは、女子はもちろん、男子も調子を上げてきているとのこと。皆さん誘い合って四校リーグに顔を見せてください。

事務局 服部保孝(25) 近藤耕司(29) 服部敦(29) 村山浩二郎(38) 稲垣直邦(45)

TEL と FAX 0586 - 45 - 0858

Mail yhattori@concerto.plala.or.jp

愛知一中・旭丘高校バスケット部OB会会計報告

2003年度決算報告

(2003年4月1日～2004年3月31日)

(1) 収入の部

年会費(134名分)	381,000
利息	6
「荒川先生を囲む会」より寄付	48,260
繰越金	38,893
<u>合計</u>	468,159 円

(2) 支出の部

通信費	83,228
印刷費	26,985
事務費	13,338
会議費	27,585
事業補助費	
四校リーグ補助	50,000
三校リーグ補助	6,000
新年会補助等	43,947
現役補助費	104,258
名簿作成準備金	0
繰越金	112,818
<u>合計</u>	468,159 円

注 現役補助の主な内訳

オフィシャルセット	37,170 円
合宿の旅費の補助	30,000 円
他はテーピング用品等です。	

注 今年度より四校リーグの分担金が5000円増えました。今後、公的施設を利用していくための準備です。

2004年度予算案

(2004年4月1日～2005年3月31日)

(1) 収入の部

年会費(180名分)	360,000
利息	10
繰越金	112,818
<u>合計</u>	472,828 円

(2) 支出の部

通信費	80,000
印刷費	40,000
事務費	10,000
会議費	30,000
事業補助費	
四校リーグ補助	55,000
その他の事業	45,000
現役補助費	100,000
名簿作成準備金	0
繰越金	112,828
<u>合計</u>	472,828 円

(3) 特別会計の部

名簿作成準備金残高	185,439
今年度準備金	0
<u>差し引き残金</u>	185,439 円